

辻井 正次 ゼミ

教員の研究関心領域

乳幼児期から成人期に至る人の発達過程のなかでの生物学的な要因と社会的な諸要因との相互作用に関して発達臨床心理学的に明らかにすることに興味があります。生物学的な要因の代表例である発達障害児者の発達支援を中心に取り組んでいます。一方で、社会的な要因について、家族や学校といった身近な場への介入から、政策・施策、あるいは啓発といったより大きな観点での介入までを全体像として考えるようにしています。実際の社会的な支援やケアに取り組むことが多く、東日本大震災後の心理的サポート等に取り組んでいます。

4年までのテーマ・方針・内容

卒業して社会人になるというビジョンのなかで、テキストを解説すること、まとめられること、理解した内容を他者にわかるように伝えること、統計的な知識を基にしてある程度の数値を読み解けることなどを、学ぶ内容が何であるかに関わらず、その前提として成し遂げてほしいことだと考えています。まずは、共通のテキストを読むこと、そのなかかに書いてあることを理解し、面白いところを発見していくことや、他者と意見の違いを交流しあうことや、文章に関心あることをまとめることから始め、徐々に、自分で調べてまとめられる、さらには改善すべき点をまとめ、改善策を提案できる企画能力を立てることを目指します。いくつかの社会実験的なイベントの取り組みも検討しています。

卒業論文のタイトル例

「大学生のお菓子購買行動についての心理・社会学的研究」
「携帯電話と友人関係」
「お金に対する価値観と幸福感」
「若者におけるお土産の考えと意識」
「家族関係および愛他的性格が子どもの対人コミュニケーション能力に与える影響について」
「子どもの遊び研究」
「カウボーイビバップ研究」
「寂しさの感情がもたらす不安と依存傾向」
「親の夫婦関係が母娘関係におよぼす影響について」

成績評価 基準・方法

演習時のプレゼンテーションや、コメント、演習課題のレポートなどで評価を行う。積極的で好奇心に満ちた態度で臨んでいただきたい。

自己紹介 こんな学生を歓迎

特に特別な自己紹介はありません。演習と言っても講義の1つです。特に特別なものと考えてる必要はないと思っています。さて、以下の方を歓迎します;まじめな人、一所懸命な人、地味な仕事を嫌がらない人、汗を流すことを嫌がらない人。気持ちの熱い人。また、何かにいつもワクワク、ドキドキしている人、何かに取り組んでいる人、よく動く人、自分がプレイヤーでいたいと思う人。よく本を読む人、よく漫画を読む人、よく映画を観る人、よく演劇を観に行く人、よく音楽を聴く人、よく演奏会に行く人など。

演習Ⅰ テーマ:

内容 スケジュール

発達臨床心理学のトピックスを取り上げ、テキストを輪読し、内容について理解を進めるとともに、討論をしていきます。テキストを事前に読み、プレゼンテーションの準備をし、実際に行い、意見を交流させ、自分の意見に対する感想をもらい、新しい観点での理解の幅を広げていきます。後半には、テーマに関連して自分が関心を持った内容に関して、調べて発表をしたり、レポートにまとめたりしていきます。

その他

テーマに関連した、小説、映画、漫画、演劇などを観たり、読んだりすることが奨励されます。

演習Ⅱ テーマ:

内容 スケジュール

発達臨床心理学のトピックスを取り上げ、テキストを輪読し、内容について理解を進めるとともに、討論をしていきます。演習Ⅰと同様に進めていきます。後半は、グループで、決めたテーマにそって、面接調査を行います。必要な情報を面接で収集し、情報をまとめて、分析することを行います。

その他

テーマに関連した、小説、映画、漫画、演劇などを観たり、読んだりすることが奨励されます。

演習Ⅲ テーマ:

内容 スケジュール

原則的には、卒業研究にもとりこんでいただき、個々の卒業研究についての発表会をして、互いにコメントをしあいながら、さまざまなテーマのさまざまな課題について多面的に考える機会をもつ。

その他

就職活動に負けずに、学ぶ意欲や自分を高める意欲を持ち続けましょう。